

ユガテの森から

NO17

発行 NPO法人 西川木楽会 埼玉県飯能市大字飯能291番地

平成31年1月1日



朝焼けの富士山 北アルプス 燕岳から(9月下旬撮影)

＝「ユガテの森から」新年号に寄せて＝ 代表理事 和泉 由起夫

明けましておめでとうございます。

NPO法人西川木楽会々員、並びに関係者の皆様へ

ひとこと新年仕事始めのご挨拶を申し上げます。

本会も 25 年目の春を迎える事が出来ました事、偏に会員皆様の結集の賜でございます。

今事業年度も主たる事業項目の「実践体験を通じた林業の普及活動」「環境保全に関する調査研究、「自然体験、環境学習を通じた健全な青少年の育成」「地域の森林・林業の振興を考える都市住民との交流事業」を振り返ってみて特に交流事業では木工展示、販売等、各方面からのオファーをいただきました。これも西川木楽会の事業活動がイベント主催者側からのご理解と感謝で喜んでいただき、大好評を博しました。

そして、環境保全事業でもみどりの基金で植栽作業も実施されユガテの広場もより充実して参りました。

次回の植栽も植え付け地の課題もありますが、今は計画予定というところでは。

西川木楽会事業活動の推進をする事で、山での交流、地域でのコミュニケーションを通じて、まちが、人が元気になります様、また、会員の皆様におかれましては、本年が素晴らしい一年となります様心よりご祈念いたします。

果樹栽培から見えてくる植物と動物の共通性

佐藤 博

植物園勤務当時、12月から3月というのは落葉樹の剪定時期に当り、園内に数千本ある一般樹木、バラ・藤・桜等の花木、梅・柿・リンゴ等の果樹の剪定に明け暮れていました。これらの中で特に神経を使うのが果樹の剪定である。ほとんどの果樹(つる性は別)の特性として、4月頃に新芽が出た後、急速に枝の伸長が始まり、7月前後まで続いた後に、①枝の伸長停止→充実というパターンになるか、②枝が伸び続ける(徒長枝)かの、どちらかに分かれます。これは何によって決まるかという、樹齢、肥沃度も含む土壌条件、枝の角度、日照条件、風当り(強い程伸びが止る)等の条件を植物は見極め、判断するということとなります。これは、植物が光合成で得たエネルギーを何に使うかの判断で、生殖生長(子孫を残す方向)、か栄養生長(徒ら樹体を大きくする方向)の判断でもあります。7月前後に生殖生長に梶を切った枝は伸びをストップし、枝の充実を図ります。ここで、枝が十分にエネルギーを蓄えると花芽分化がおこり、次年度に開花→結実、ということになります(リンゴの場合は2年目の枝)。ここで重要なのは、枝の伸長停止が子孫を残すために必須条件であるということです。これは、人も含めた動物にも当てはまることで、ネコであれば6～12ヶ月、小型犬であれば12～15ヶ月くらいで、成長(植物の場合は生長)がストップするか、成長に急ブレーキがかかった当りから子供を産むことが可能となります。それでは、生長(又は成長)が止まると何故子孫を残すことが可能になるかといいますと、理由は極めて簡単で「生長(成長)とにエネルギーを使わなくて済むため」ということとなります。但し、植物の場合でも動物の場合でも生長(生長)が止ったから子孫が残せるということではなく、植物の場合は枝の充実、動物の場合は脂肪蓄積量(又は体重)がある一定量に達する必要があります。果樹に関する質問で特に多いのが、植えてからかなりの年数が経つのに実が生らないがどうすればよいか、という質問です。これに対する回答は、生長を止めることということになります。具体的には、枝を水平方向に誘引すること、樹冠の真下に位置する根を切断すること、それでも効果が無い場合は、根元から数十cmの高さのところの幹にノコギリでキズを付けてやることですが、これだけは素人がやると枯れる心配があるので無理かと思えます。



カキの結果枝(短果枝)と徒長枝(右側)

充実した枝(結果枝)

3ヶ月の記録



原木マイタケの収穫（ユガテ）



ヒラタケ発生（ユガテ）



10月28日 入間万燈祭り



11月11日 三芳町産業祭



12月8日 クリスマスリースづくり



12月8日 西川木楽会忘年会（13名参加）



12月23日 ミニ門松づくり



12月23日 ミニ門松づくり

西川木楽会 3 カ月予定表 (2019年1月から4月)

月 日	時 間 帯	行 事 内 容	場 所
1月13日 (日)	11:00から15:00	安全祈願祭&自由討論会	ユガテ
1月26日 (土)	10:00から15:00	定例活動日	ユガテ
2月3日 (日)	10:00から16:30	和の住まい推進リレーシンポジウム in 飯能	はんしんホール
2月19日 (火)	19:00から21:00	理事会	飯能ケーブルテレビ
2月23日 (火)	10:00から15:00	定例活動日	ユガテ
3月2日 (土)	9:00から15:00	早春のユガテ、カエデ樹液採取とメープルシロップを味わう	ユガテ
3月23日 (土)	10:00から15:00	定例活動日	ユガテ
4月6日 (土) 予定	10:00から15:00	ユガテの春を楽しむ	ユガテ

備考 1. 定例活動日

ユガテ：第4土曜日 任意の製材木工作业：毎週火曜日
真壁と暮らし部会：第3土曜日 理事会は原則偶数月第3火曜日

2. 時間に拘ることなくご都合の良い時間にご参加いただいても結構です

情 報

「和の住まい推進リレーシンポジウム in 飯能」を開催します！

山とまち、自然と人を結ぶ木の家にあたりまえに住むには？

～「飯能型気候風土適応住宅」って何?!～

省エネ住宅というと高気密高断熱住宅が主流ですが、地域の気候風土に適応した伝統的な木造住宅でも省エネを実現することができます。

そこで、飯能の自然環境に応じた飯能らしい暮らしとなる「飯能型気候風土適応住宅」を知ること、
「どうしたら、普段に 木の家に住めるか！」知恵を出し合い、実現の道を探ります。

1 日 時：平成 31 年 2 月 3 日 (日) 10 時～ 16 時半

2 会 場：はんしんホール (飯能市栄町 24 番地 9 飯能信用金庫本店 9 階)

参加費：無料 (定員：150 名・要予約)

「WOODコレクション (モクコレ) 2019」

日本各地の地域材を活用した建材や家具などの木材製品の展示商談会

1 日 時 平成 31年1月29日(火) 10:00～17:30

1月30日(水) 10:00～16:30

2 会 場 東京ビッグサイト 東7・8ホール

埼玉県から

- ・おぶすま福祉会 飯能事業所
- ・Ki&プロジェクト/NPO法人西川・森の市場
- ・島崎木材 3事業所が出展します。

申し込み等 <http://www.mokucolle.com/> ヘアアクセス

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、異常低温、地震、異常高温、台風など自然に振り回された年でした。今年は、平穏な気象の年でありますように、また、会員の皆様にとりまして、より良き年でありますように心から御祈念いたします。(宮島)